

科目名		単位数	指導学年・類・型		必修・選択
日本史B		3	2年1類A,C型		必修
授業担当者			教科書名	副教材等	
			日本史 B (山川出版社)	プリント等	
科目の到達目標					
① 日本史の基本的事項（原始・古代～中世）を広く学ぶ。 ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。 ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。 ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。					
評価の観点と方法について					
年5回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。					
		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	原始・古代 ・古代社会の形成	発掘資料、文献に基づき、研究された歴史であることを認識する 『古事記』『日本書紀』等を参考に大和政権について理解する	日本の旧石器文化 縄文時代の社会と文化 弥生時代の社会と文化 小国の分立と邪馬台国 大和政権の成立 倭の五王と大和政権の勢力伸長 氏姓制度と群集墳の出現	授業中の関心・意欲・態度
	5	・律令国家の形成	律令体制成立の経緯、意義を理解する	飛鳥時代の政治・文化 律令の成立と白鳳文化 平城京と律令政治 奈良時代の社会と政治 国家仏教と天平文化 平安初期の政治と文化	ノート提出 中間考査
	6	・貴族政治の展開	藤原氏を中心にして、平安時代の政治・文化を理解する	摂関政治の確立 国風文化の成立 中世社会の土地制度 武士団の成立	
	7	中世 ・武家社会の形成	武士が登場し、勢力を拡大していく経緯、意義を理解する	院政と保元・平治の乱 平氏政権と治承・寿永の内乱	ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	・ 武家社会の形成	鎌倉幕府の政治等から日本の中世を理解する	鎌倉幕府の成立 承久の乱と執権政治 地頭の荘園支配 農工業の発達と定期市 元寇と鎌倉幕府の衰退 鎌倉時代の仏教と文化	授業中の関心・意欲・態度
	10	・ 武家政権の成立と鎌倉文化	建武の新政から、足利義満の統治期までの経緯を理解する	建武の新政と南北朝の内乱 室町幕府の確立 室町時代の日本と朝鮮・中国 北山文化 室町時代の流通経済の発達	ノート提出 中間考査
	11	・ 武家社会の成長	民衆の自治と、戦乱の時代を理解する	惣村と一揆 内乱と一揆の世 城下町の出現と分国法 東山文化と同朋衆の活躍	
	12	近世 ・ 幕藩体制の成立	織田信長、豊臣秀吉の登場による時代の変化を理解する	大航海時代の余波 織田信長の天下布武 豊臣秀吉の全国統一 豊臣政権の対外政策 桃山文化	ノート提出 期末考査
三 学 期	1	・ 幕藩体制の成立	江戸幕府が成立する経緯と、徳川家康、秀忠、家光の権力掌握の経緯を理解する	江戸幕府の成立 幕府と藩の支配体制 年貢と身分制 禁教と貿易統制	授業中の関心・意欲・態度
	2	・ 幕藩体制の展開	江戸幕府の支配が確固たるものになる経緯を理解する 江戸時代中期における政治・経済・文化を理解する	元禄・正徳の政治 農業・諸産業の発達 交通と流通の発達 商業・金融・三都の発展 元禄文化	ノート提出 学年末考査
	3				
その他（履修上の留意点・大学進学等のための学習など） ・ 3年生でも引き続き「日本史B」の選択履修をすることができます。 ・ 大学受験にも対応できるよう、授業内容や時間配分等の配慮をします。 ・ 日本史は暗記が欠かせない科目ですが、語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れに関連づけて理解するようにしましょう。					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
日本史B	2	2年1類B型	選択
授業担当者		教科書名	副教材等
		高校日本史B (山川出版社)	詳説日本史図録 (山川出版社) その他授業プリント

科目の到達目標

- ① 日本史の基本的事項（原始・古代～中世）を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年3回の定期考査の点数を基本として、授業プリントや長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	原始・古代 第1章 古代社会の形成	発掘資料、文献に基づき、研究された歴史であることを認識する	日本の旧石器文化 縄文時代の社会と文化 弥生時代の社会と文化 小国の分立と邪馬台国	授業中の興味・関心・ 態度
	5		『古事記』『日本書紀』等を参考に大和政権について理解する	大和政権の成立 倭の五王と政権の勢力伸長 氏姓制度と群集墳の出現 飛鳥時代の政治・文化	
	6	第2章 律令国家の形成	律令体制の成立経緯、意義を理解する	律令の成立と白鳳文化 平城京と律令政治 奈良時代の社会と政治	
	7	第3章 貴族政治の展開	藤原氏を中心にして、平安時代の政治・文化を理解する	国家仏教と天平文化 平安初期の政治と文化 摂関政治の確立 国風文化の成立 武士団の成立 院政と保元・平治の乱 平氏政権	ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	中世 第4章 武家社会の形成	武士が登場し、勢力を拡大していく経緯、意義を理解する	鎌倉幕府の成立 承久の乱と執権政治 地頭の荘園支配 農工業の発達と定期市	授業中の興味・関心・ 態度
	10		鎌倉幕府の政治等から日本の中世を理解する	元寇と鎌倉幕府の衰退 鎌倉時代の仏教と文化 北条氏の専制と悪党	
	11	第5章 武家社会の成長	建武の新政から、足利義満の統治期までの経緯を理解する	建武の新政と南北朝の内乱 室町幕府の確立 室町時代の日本と朝鮮・中国 流通経済の発達 北山文化	
	12		民衆の自治と、戦乱の時代を理解する	惣村と一揆 内乱と一揆の世 城下町の出現と分国法 東山文化と同朋衆の活躍	
三 学 期	1	近世 第6章 幕藩体制の成立	織田信長、豊臣秀吉の登場による時代の変化を理解する	大航海時代の余波 織田信長の天下布武 豊臣秀吉の全国統一 豊臣政権の対外政策 桃山文化	授業中の興味・関心・ 態度
	2				
	3				ノート提出 学年末考査

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

- ・近世・近代（初期）の学習は3年次選択科目で履修できます。（ただし、大正期以降は自学となります）
- ・大学受験にも対応できるよう、授業内容や時間配分等配慮します。（必要に応じてプリント教材も使用）
- ・日本史は暗記が欠かせない科目ですが、語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れに関連づけて理解するようにしましょう。

科目名		単位数	指導学年・類・型		必修・選択
日本史B		4	2年2類文型		必修
授業担当者			教科書名	副教材等	
			高校 日本史 B (山川出版社)	山川 詳説日本史図録 山川 高校日本史ノート	
科目の到達目標					
① 日本史の基本的事項（原始・古代～近世）をさまざまな角度から学ぶ。 ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。 ③ 各時代の人々の生き方、考え方、できごととその影響などを自分や現代社会と関連付けて考える。 ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。					
評価の観点と方法について					
年5回の定期考査の点数を基本として、授業ノートや長期休暇課題等の提出状況等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。					
		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	古代社会の形成 ・ 日本文化のはじまり ・ 農耕の開始 ・ ヤマト政権と古墳	発掘資料、文献に基づき、研究された歴史であることを認識する 律令体制成立の経緯、意義、大陸、半島との関係を理解する	日本の旧石器文化 縄文時代の社会と文化 弥生時代の社会と文化 小国の分立と邪馬台国 大和政権の成立 倭の五王と大和政権の勢力伸長 氏姓制度と群集墳の出現 飛鳥時代の政治・文化 律令の成立と白鳳文化 平城京と律令政治 奈良時代の社会と政治 国家仏教と天平文化 平安初期の政治と文化 摂関政治の確立 国風文化の成立	ノート提出 中間考査
	5	律令国家の形成 ・ 律令国家の成立 ・ 律令国家の繁栄			
	6	・ 律令国家の変質 貴族政治の展開 ・ 摂関政治 ・ 国風文化			
	7				ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	・ 荘園の発達と武士の台頭 武家社会の形成 ・ 院政と平氏の台頭 ・ 鎌倉幕府の成立と発展	武士が登場し、勢力を拡大していく経緯、意義を理解する	中世社会の土地制度 武士団の成立	ノート提出 中間考査
	10	・ 蒙古襲来と幕府の衰退 ・ 鎌倉文化 武家社会の成長 ・ 室町幕府の成立	院政・平氏・鎌倉幕府の政治等から日本の中世を理解する	院政と保元・平治の乱 平氏政権と治承・寿永の内乱 鎌倉幕府の誕生・承久の乱 執権政治 元寇と鎌倉幕府の衰退 鎌倉時代の仏教と文化 北条氏の専制と悪党	
	11	・ 下剋上の社会 ・ 室町文化 ・ 戦国の動乱 幕藩体制の成立 ・ 織豊政権	建武の新政から、足利義満の統治期までの経緯を理解する 民衆の自治と、戦乱の時代を理解する	建武の新政と南北朝の内乱 室町幕府の確立 中国・朝鮮との関係、北山文化 室町時代の流通経済の発達 惣村と一揆、戦国の世 東山文化と同朋衆の活躍	
	12	・ 江戸幕府の成立	織田信長、豊臣秀吉の登場による時代の変化を理解する	大航海時代の余波 織田信長の天下布武 豊臣秀吉の全国統一・対外政策 桃山文化	
			江戸幕府が成立する経緯と、徳川家康、秀忠、家光の権力掌握の経緯を理解する	江戸幕府の成立 幕府と藩の支配体制 年貢と身分制	
三 学 期	1	・ 江戸初期の外交と文化 幕藩体制の展開 ・ 幕政の安定 ・ 経済の発展 ・ 元禄文化 幕藩体制の動揺 ・ 幕政の改革	江戸幕府の支配が確固たるものになる経緯を理解する 江戸時代中期における政治・経済・文化を理解する	禁教と貿易統制 元禄・正徳の政治 産業、都市、交通の発達 町人文化と学問の発達 元禄文化 吉宗の政治	ノート提出 学年末考査
	2	・ 江戸幕府の衰退 ・ 化政文化	江戸幕府の支配が揺らいでいく経緯を理解する 江戸時代後期の政治・経済・文化について理解する	近世中期の農村社会の変化 田沼の政治と寛政の改革 外圧と幕府・諸藩の改革 化政文化 江戸時代後期の学問・思想	

その他（履修上の留意点・大学進学等のための学習など）

- ・ 3年生でも引き続き「日本史B」の選択履修をすることができる。
- ・ 大学受験にも対応できるよう、授業内容や時間配分等の配慮をする。（3年次には問題演習等も行う）
- ・ 語句の暗記のみにとどめるのではなく、その意味や影響、歴史の流れなどを理解できるよう努める。

科目名		単位数	指導学年・類・型		必修・選択
日本史B		4	2年3類		必修
授業担当者			教科書名	副教材等	
*****			山川出版社・日本史B	プリント等	
科目の到達目標					
① 日本史の基本的事項（原始・古代～中世）を広く学ぶ					
② 原始・古代から中世の人々の生活や文化に親しみ、それぞれの考え方や生き方を理解する					
③ 中世の世界がいかなる歴史的過程をへて形成されてきたかを、事実に即して学ぶ また、世界の中で日本がどのような役割をはたしてきたかを考えさせる					
④ 復習プリントを取り入れながら基礎知識の深化をはかる					
評価の観点と方法について					
年間5回の定期考査を基本として、授業プリントやノートの提出，授業中の発問や作業への取り組み方などから態度・興味・関心・意欲・集中力を判断し，評価に加味し，総合的に評価する。					
		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	原始・古代 ・ 日本文化のあけぼの	発掘資料、文献に基づき、研究された歴史であることを認識する。	日本の旧石器文化、縄文時代の社会と文化、弥生時代の社会と文化、小国の分立と邪馬台国	授業中の態度・興味・関心・意欲 中間考査
	5	・ 古代国家の形成と東アジア	『古事記』『日本書紀』等を参考に大和政権について理解する	大和政権成立、倭の五王と大和政権の勢力伸長、氏姓制度と群集墳の出現 飛鳥時代の政治・文化、古代国家の形成	
	6	・ 律令国家の成立と都城	律令体制成立の経緯、意義を認識する	律令の成立と白鳳文化、平城京と律令政治、奈良時代の社会と政治	
	7	・ 古代国家の推移と社会の変化	藤原氏を中心にして、平安時代の政治・文化を理解する	国家仏教と天平文化、平安初期の政治と文化、摂関政治の確立、国風文化の成立 中世社会の土地制度、武士団の成立 院政と保元・平治の乱、平氏政権と治承・寿永の内乱	期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	中世 ・古代から中世社会へ	武士が登場し、勢力を拡大していく経緯、意義を理解した上で平氏政権を認識する	鎌倉幕府の成立、承久の乱と執権政治、地頭の荘園支配 農工業の発達と定期市、元寇と鎌倉幕府の衰退、鎌倉時代の仏教と文化 北条氏の専制と悪党	授業中の態度・興味・関心・意欲
	10	・武家政権の成立と鎌倉文化	鎌倉幕府の政治等から日本の中世を理解する		
	11	・室町幕府と北山文化	建武の新政から、足利義満の統治期までの経緯を理解する	建武の新政と南北朝の内乱、室町幕府の確立、室町時代の日本と朝鮮・中国 北山文化、室町時代の流通経済の発達	中間考査
	12	・下克上の社会と庶民の台頭	民衆の自治と、戦乱の時代を認識する	惣村と一揆、内乱と一揆の世、城下町の出現と分国法、東山文化と同朋衆の活躍	
		近世 ・中世から近世社会へ	織田信長、豊臣秀吉の登場による時代の変化を理解する	大航海時代の余波、織田信長の天下布武、豊臣秀吉の全国統一、豊臣政権の対外政策、桃山文化	期末考査
三 学 期	1	・幕藩体制の成立と国際関係	江戸幕府が成立する経緯と、徳川家康、秀忠、家光の権力掌握の経緯を理解する	江戸幕府の成立、幕府と藩の支配体制 年貢と身分制、禁教と貿易統制	授業中の態度・興味・関心・意欲
	2	・幕藩体制の展開と元禄文化	江戸幕府の支配が確固たるものになる経緯を理解すると共に、民衆史を認識する。	元禄・正徳の政治、産業の発達、都市と交通の発達、町人文化と学問の発達、元禄文化	
	3	・幕藩体制の動揺と化政文化	幕藩体制が崩壊していくなかで、政治改革や藩政改革が行われたことを理解する。	徳川吉宗から水野忠邦までの政治改革の内容および外圧、さらに薩摩・長州藩等で行われた藩政改革の内容	学年末考査
その他（履修上の留意点・大学進学等のための学習など） ・3年生でも引き続き「日本史B」の選択履修が可能である ・大学受験にも対応できる内容の深化と時間配分に配慮する					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
地理	2	2年 1類 B型	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	新編 詳解地理B（二宮書店）	詳解現代地図（二宮書店）	

科目の到達目標 現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。また、大学入学共通テストを見据え、入試実践問題演習に入れるよう、3年2学期中間で全単元を終えられるよう進める。
--

評価の観点と方法について 定期考査の点数を基準とし、ノートや課題等の提出状況を加味し、総合的に評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	第Ⅰ編 地図と地理的技能	・さまざまな地図の特徴とその利用、時差の求め方を理解する	・地理情報と地図 ・地図と地域調査	・ノート提出
	5	第Ⅱ編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境	・地球内外の力がつくる様々な地表のかたちを知り、その成り立ちを理解する	・地殻変動でつくられた大地形 ・大地の急激な変動 ・河川の地形 ・海岸の地形 ・その他の特徴的な地形 ・日本の地形と自然災害	
	6		・気候のしくみを知り、気候の地域性と生業・文化との関りについて理解する	・気候のしくみ ・気候の地域性 ・気候変動と異常気象 ・世界の気候区分 ・植生と土壌 ・日本の気候と自然災害	・ノート提出 ・期末考査
	7		・様々な環境問題の原因を知り、その解決策について考える	・温暖化、砂漠化、森林破壊など	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第2章 資源と産業	・世界の農林水産業について地域の特性を知り、気候や文化との関わりについて理解する	・農業地域の形成条件 ・世界の様々な農業 ・世界と日本の林業 ・世界と日本の水産業 ・世界の食料問題 ・日本の農業と課題	・夏季課題提出
	10		・資源やエネルギーの分布や活用について知るとともに、資源やエネルギーをめぐる課題について考える	・生活と産業をささえる資源・エネルギー ・世界のエネルギー資源 ・世界の原料資源 ・資源・エネルギーをめぐる課題	・ノート提出
	11		・世界の工業の成り立ちや立地について知り、グローバル化する工業生産について理解を深める	・世界の工業の成り立ち ・工業の立地 ・世界の工業と工業地域 ・グローバル化する工業生産と多国籍企業 ・グローバル化の中の日本の工業	
	12		・交通や情報通信の発達について学び、貿易や商業環境の変化について理解する	・世界を結ぶ交通 ・情報通信の発達 ・世界の貿易 ・商業環境の変化 ・観光産業の発展	・ノート提出 ・期末考査
三 学 期	1	第3章 人口と村落・都市	・世界の人口分布について知り、人口問題を考える	・世界の人口分布と人口増加 ・人口増加地域の人口問題 ・人口減少地域の人口問題 ・日本の人口問題	
	2		・村落と都市の成り立ちについて知り、居住問題や日本の村落・都市の課題について考える	・村落の成り立ちと機能 ・都市の発達と形態 ・都市の拡大と都市圏 ・都市・居住問題	・ノート提出 ・期末考査
	3				
その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） ・3年次でも地理を履修する。3年次は各地域の地誌を学習した後、入試過去問等の実践問題にも取り組む予定である。					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
地理	2	2年 2類 理型	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	新編 詳解地理B（二宮書店） 詳解現代地図（二宮書店）	地理統計要覧 2021（二宮書店） 新詳地理資料 COMPLETE 2021（帝国書院）	

科目の到達目標 現代社会の諸事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者に必要な公民としての自覚と資質を養う。

評価の観点と方法について 定期考査の点数を基準とし、ノートや課題等の提出状況を加味し、総合的に評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	第Ⅰ編 地図と地理的技能	・さまざまな地図の特徴とその利用、時差の求め方を理解する	・地理情報と地図 ・地図と地域調査	・ノート提出
	5	第Ⅱ編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境	・地球内外の力がつくる様々な地表のかたちを知り、その成り立ちを理解する	・地殻変動でつくられた大地形 ・大地の急激な変動 ・河川の地形 ・海岸の地形 ・その他の特徴的な地形 ・日本の地形と自然災害	
	6		・気候のしくみを知り、気候の地域性と生業・文化との関りについて理解する	・気候のしくみ ・気候の地域性 ・気候変動と異常気象 ・世界の気候区分 ・植生と土壌 ・日本の気候と自然災害	・ノート提出
	7		・様々な環境問題の原因を知り、その解決策について考える	・温暖化、砂漠化、森林破壊など	・期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第2章 資源と産業	・世界の農林水産業について地域の特性を知り、気候や文化との関わりについて理解する	・農業地域の形成条件 ・世界の様々な農業 ・世界と日本の林業 ・世界と日本の水産業 ・世界の食料問題 ・日本の農業と課題	・夏季課題提出
	10		・資源やエネルギーの分布や活用について知るとともに、資源やエネルギーをめぐる課題について考える	・生活と産業をささえる資源・エネルギー ・世界のエネルギー資源 ・世界の原料資源 ・資源・エネルギーをめぐる課題	・ノート提出
	11		・世界の工業の成り立ちや立地について知り、グローバル化する工業生産について理解を深める	・世界の工業の成り立ち ・工業の立地 ・世界の工業と工業地域	
	12			・グローバル化する工業生産と多国籍企業 ・グローバル化の中の日本の工業	・ノート提出 ・期末考査
三 学 期	1	第3章 人口と村落・都市	・交通や情報通信の発達について学び、貿易や商業環境の変化について理解する	・世界を結ぶ交通 ・情報通信の発達 ・世界の貿易 ・商業、観光産業の発展	
	2		・世界の人口分布について知り、人口問題を考える ・村落と都市の成り立ちについて知り、居住問題や日本の村落・都市の課題について考える	・世界の人口分布と人口増加 ・人口増加地域の人口問題 ・人口減少地域の人口問題 ・日本の人口問題 ・村落の成り立ちと機能 ・都市の発達と形態 ・都市の拡大と都市圏 ・都市・居住問題	・ノート提出
	3				・期末考査
その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） ・3年次でも地理を履修する。3年次は各地域の地誌を学習した後、入試過去問等の実践問題にも取り組む予定である。					